

講義名	哲学		
科目区分	教養科目		
担当教員	越後 圭一		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 5時限		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	45004

主題と概要

哲学は、世界や人間の存在の有り様や存在そのものについて「問う」ことをします。常識や先人の教養を参考にしつつも、それらにとらわれず、じぶんの頭で「とは何か？」と追求することが哲学の基本姿勢です。とはいえ、やはり先人の教養を知ることは大事です。この講座では、おもに近世哲学の代表的な思想を紹介することで、じぶんの頭で考えるためのヒントにしてもらいたいと考えています。

到達目標

- ・ 知への興味や関心を引き出し、物事を深く考えるための知的基盤形成を促す教養をつけること。
- ・ 物事の本質を原理的に思考するヨーロッパ近世哲学の特徴をつかむこと。

提出課題

学期末に1回だけレポート提出を求めます。講義内容に関係するテーマについて論じてもらいます。詳細は授業内で説明します。

評価の基準

授業はすべて講義形式で行います。毎回配布するレジュメを教材とし、スライドを使って授業をすすめていきます。試験等はおこないませんが、学期末のレポートのみによって評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

哲学という難しいイメージがあるかもしれませんが、この授業では近世哲学全体の特徴をつかみやすいように各思想家について深く踏み込まずにかんたんに概説するつもりですので、気軽に受講していただければと思います。

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

各授業にてレジュメを配布します。参考文献は授業内で紹介する予定です。

授業計画

- 第1回： ガイダンス、中世から近世へ
- 第2回： 近世哲学のはじまり ルネサンス
- 第3回： 近世哲学のはじまり 宗教改革
- 第4回： 近世哲学のはじまり 科学革命
- 第5回： 合理論 デカルト
- 第6回： 合理論 デカルト
- 第7回： 合理論 スピノザ
- 第8回： 合理論 スピノザ
- 第9回： 合理論 ライブニッツ
- 第10回： 合理論 ライブニッツ
- 第11回： 経験論 ロック
- 第12回： 経験論 バークリ
- 第13回： 経験論 ヒューム
- 第14回： カントの批判哲学
- 第15回： カントの批判哲学

予習・復習

毎回の授業に臨むにあたり、それまで授業で配られたレジュメを復習し、思想の大まかな流れやキーワードを把握しておくとう理解しやすいと思います。

備考

授業の進み具合等に応じて内容を変更する場合があります。